



TOHO GAS

ecoジョーズ

潜熱回収型

高効率暖房給湯器

品番

FT4218KRSSWCMZ

取扱説明書

(保証書付)

機器本体編

● もくじ ●

はじめに

この取扱説明書の見かた……………	2
製品の品番・製品タイプをご確認ください…	2
電源の「入」「切」について……………	3
必ずお守りください(安全上の注意)……	4
各部のなまえとはたらき(機器本体)……	8

使いかた

リモコンの使いかたについては、
別冊のリモコン操作編の取扱説明書を
ご覧ください

必要なとき

凍結による破損を予防する……………	9
長期間使用しないとき(水抜きのみ)……	10
水抜き後の再使用のとき……………	11
日常の点検・お手入れのみ……………	12

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら……………	14
リモコンに3桁の英数字を 表示しているとき<故障表示>……	17

ご参考

アフターサービス……………	18
主な仕様……………	19
保証書……………	裏表紙

SBB80YM



この取扱説明書の見かた

このたびは当社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
- 保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
- この取扱説明書(保証書付)は、別冊のリモコン操作編の取扱説明書と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

暖房給湯器に関する内容のみ記載しています

- リモコン操作については、リモコン操作編の取扱説明書で説明していますので、併せてお読みください。

文中の(P○)の数字は参照ページを表します

製品の品番・製品タイプをご確認ください

品番の確認のしかた

- 機器に貼り付けてある銘板で確認できます。



この製品は「自動タイプ」です

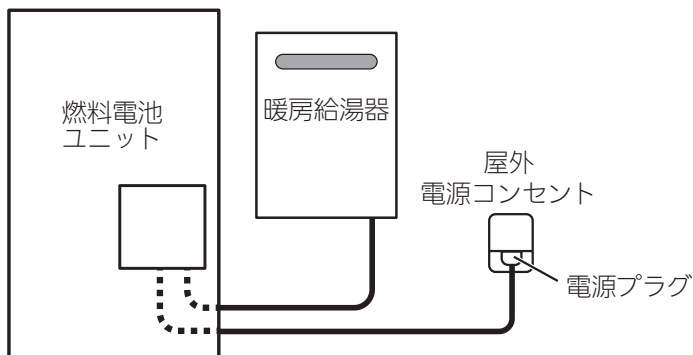
- 製品タイプが「全自動タイプ」か「自動タイプ」によって、しくみや操作が異なる部分があります。
リモコン操作編の取扱説明書には両方の記載がありますので、「自動タイプ」の項目をご覧ください。

電源の「入」「切」について

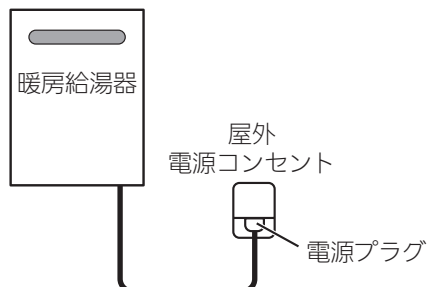
- 暖房給湯器の電源は、屋外電源コンセントから供給されます。

暖房給湯器の電源の「入」「切」は、電源プラグの抜き差しでおこなってください。 **ぬれた手でさわらない**

【燃料電池ユニットを通して供給される場合】



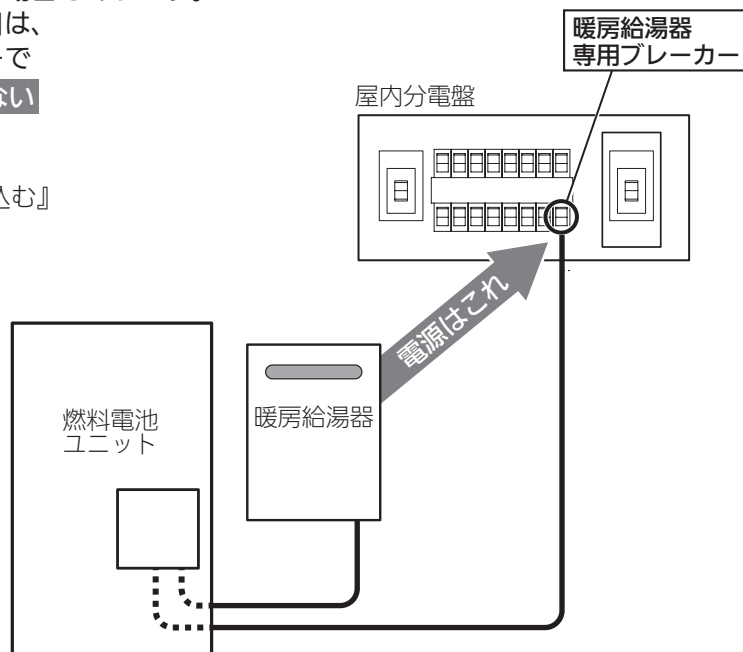
【屋外電源コンセントから直接供給される場合】



電源は、屋内分電盤から供給されている場合もあります。

この場合の暖房給湯器の電源の「入」「切」は、屋内分電盤の暖房給湯器専用ブレーカーで操作してください。 **ぬれた手でさわらない**

この取扱説明書に、『電源プラグを抜く』『電源プラグを差し込む』と記載してある箇所は、『専用ブレーカーを「切」にする』『専用ブレーカーを「入」にする』と読み替えてください。



必ずお守りください(安全上の注意)

- リモコン操作編の取扱説明書の内容も併せてご覧ください。
- お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されます。	⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されます。
⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。	お願い 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

⚠ 危険 異常のあったとき

必ず守る

- ガス漏れに気づいたときは、
 - ① すぐに使用をやめる
 - ② ガス栓を閉める
また、メーターのガス栓も閉める
 - ③ 東邦ガスに連絡する

ガス栓 閉めなさい

屋外で 電話する



火気禁止

- ガス漏れ時は、絶対に
 - ・ 火をつけない
 - ・ 電気器具(換気扇その他)のスイッチ「入」「切」をしない
 - ・ 電源プラグの抜き差しをしない
 - ・ 周辺の電話も使用しない

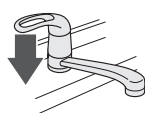
火や火花で引火し、火災の原因になります。



⚠ 警告 異常のあったとき

必ず守る

- 地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う
 - ① 給湯栓を閉める
 - ② ON/OFFスイッチを「切」にする
 - ③ ガス栓・給水元栓を閉める




- ④ 点火しない場合、または使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める
- ⑤ 使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな? と思ったら」(P14)、「リモコンに3桁の英数字を表示しているとき<故障表示>」(P17)に従い処置をする
- ⑥ ④⑤の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、東邦ガスに連絡する

お願い 雷・停電・断水などのとき

電源プラグを抜く

- 雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを「切」にする)

ぬれた手でさわらない(感電のおそれがあります)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

ぬれ手禁止

雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み(またはブレーカーを「入」にし)、リモコンの時計を合わせてください。

感電注意

※冬期は、電源を長時間切っていると凍結のおそれがあります。

※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

● 断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

● 断水復帰後の使いはじめのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまる場合があります。

● 断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

● 停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあと(またはブレーカーを「切」にしたあと)は、リモコンの現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

● 停電すると、運転が停止します

お願い 積雪時・凍結予防・長期間使用しないとき

● 積雪時には給気口・排気口の点検、除雪をする

雪により給気口・排気口がふさがれると、機器の故障の原因になります。

● 凍結による破損を予防する(P9~11)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な対策をしてください。

凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

● 長期間使用しない場合、必要な処置をする(P10)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

**警告** 給湯・お風呂・暖房の使用時

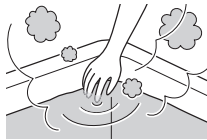
高温注意

- シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。
やけど予防のため。



- 浴槽の湯温を手で確認してから入浴する
やけど予防のため。



- ふろ運転中は、循環アダプターから熱いお湯が出るのでさわらない
やけど予防のため。



禁止

- シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、ON/OFFスイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。

また、低温に変更されたりON/OFFスイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

- 浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない

ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因になります。

- お湯の中にもぐったり、循環アダプターのフィルターを外して使用しない

運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。

- 子供を浴室内で遊ばせない、子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。

- 【床暖房が設置されている場合】

床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない
低温やけどを起こすおそれがあります。

特に次のような方が使用される場合はまわりの方が注意してあげることが必要です。

- ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かせない方
- ・疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
- ・皮膚や皮膚感覚の弱い方

**注意** 給湯・お風呂・暖房の使用時

禁止

- 【床暖房が設置されている場合】

床暖房の上に電気カーペットを敷かない

床材の割れ、そり、すき間の原因になります。

- 【床暖房が設置されている場合】

床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したり、くぎ打ちなどをしない

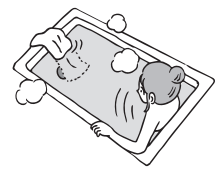
温水パイプが破損します。

お願い

給湯・お風呂・暖房の使用時

- 浴槽の循環アダプターを
タオルなどでふさがない、
穴に物を詰めない

お風呂沸かしができません。
機器の故障の原因になります。



- 硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない

- バスソルトなど塩分の強いもの、乳白色(白濁)のものを使用するときは、保温や追いだきをしない

使用後はすぐに排水する

- 入浴剤・ふろがま洗剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤・ふろがま洗剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させたり、ポンプの能力が低下する原因になるものがあります。これらを使用して追いだきしたときに、異常音が出たり、追いだきできなくなる場合は、使用をやめてください。

ふろがま洗剤の使用に際しては、注意書きをよく読み、正しく使用してください。

- 機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

- ON/OFFスイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、ON/OFFスイッチ「入」を確認してください。

ON/OFFスイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。

シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

- 使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

**警告** 機器とその周辺の注意

必ず守る

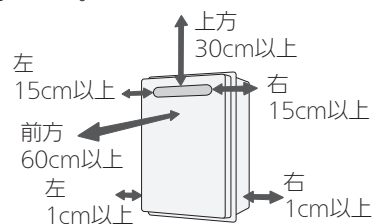
- 【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】

カバーに雪が積もっていたら、除雪する

雪で排気が閉塞すると、不完全燃焼や機器の故障の原因になります。



- 燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)
火災予防のため。



必ずお守りください(安全上の注意)(つづき)

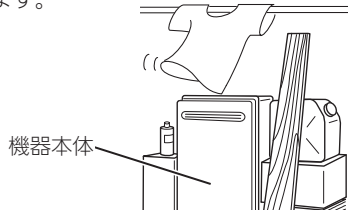


警告 機器とその周辺の注意(つづき)



禁止

- 燃えやすい物を機器本体や排気口のまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)
火災の原因になります。



- 灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口のまわりで使用しない
火災の原因になります。

- スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない
熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

- 機器本体やガスの配管、排気口などに乗ったりして、無理な力を加えない
ケガや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

- 外壁の塗装や増改築、建物の修繕時などに機器本体(排気口)が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない
不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発点火の原因になります。



注意 機器とその周辺の注意



接触禁止

- 使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない
やけど予防のため。



禁止

- 給気口・排気口に指や棒を入れない
ケガや故障の原因になります。
- 子供を機器の周囲、直下で遊ばせない
思わぬ事故の原因になります。



お願い 機器とその周辺の注意

- 機器のまわりはきれいにしておく
まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

- 植物やペットなど、排気ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものを、排気口の周囲に置かない

- 排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する
ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
(機器の修理・点検に必要な空間については、東邦ガスに確認してください)



警告 機器のメンテナンス



必ず守る

- 電源プラグのホコリは定期的に取り
ホコリがたまると、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



注意 機器のメンテナンス



必ず守る

- 機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する
不完全燃焼の原因になります。

- 機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、暖房放熱器を停止し、リモコンのON/OFFスイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

●【不凍液を使用している場合】

不凍液は3年に1度、当社指定の不凍液に交換する(P13)
交換せずに使用された場合は、防サビと凍結予防の効果がなくなり、機器や放熱器が破損するおそれがあります。交換の際は、東邦ガスにご相談ください。



お願い リモコン・その他のメンテナンス

- リモコンを分解しない
故障や、思わぬ事故の原因になります。

- リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない
変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

●【配管カバーまたは据置台がある場合】

配管カバーまたは据置台のフロントカバーを外した場合は、作業終了後、必ずフロントカバーを元どおり正しく取り付け(P8)

特に強風が予測される場合は、ネジのゆるみがないか点検する

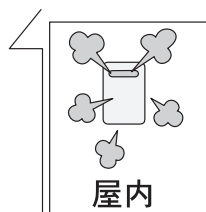
- 浴槽の循環アダプターのフィルターはこまめに掃除する
ポンプ故障の予防のため。

●浴槽、洗面台はこまめに掃除する

水中に含まれる微量の銅イオンと人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して浴槽や洗面台が青く着色することがあります。こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

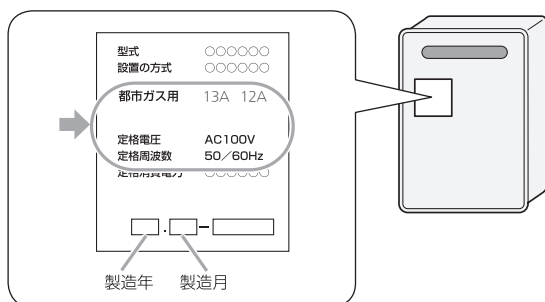
危険 機器の設置や接続

- 屋内に設置しない
一酸化炭素中毒の原因になります。

**警告** 機器の設置や接続

必ず守る

- 必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は、必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、東邦ガスに連絡してください。

- ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、東邦ガスに依頼する
安全に使用していただくため。

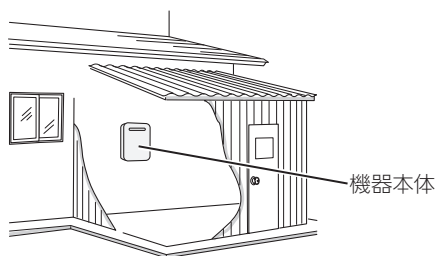
- 必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。アースがされていない場合は、東邦ガスにご相談ください。



禁止

- 増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしていない)
一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

**お願い** 機器の設置や接続

- 温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

警告 電源プラグ・電源コードの扱い

禁止

- 傷んだ電源プラグ、緩んだ電源コンセントは使用しない

感電、発熱による火災の原因になります。

- 電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

感電、ショート、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- 電源プラグやブレーカーはぬれた手でさわらない
感電の原因になります。



感電注意



必ず守る

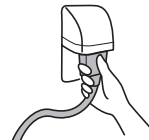
- 電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



- 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。

**警告** その他の注意

分解禁止

- お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因になります。

注意 その他の注意

禁止

- 給湯、シャワー、お風呂、暖房以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

- ドレン配管から排出される凝縮水を、飲料用・飼育用などに使用しない

- 機器取り替えと乾電池に関するお願い

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。

もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

お願い その他の注意

- 業務用の用途では使用しない

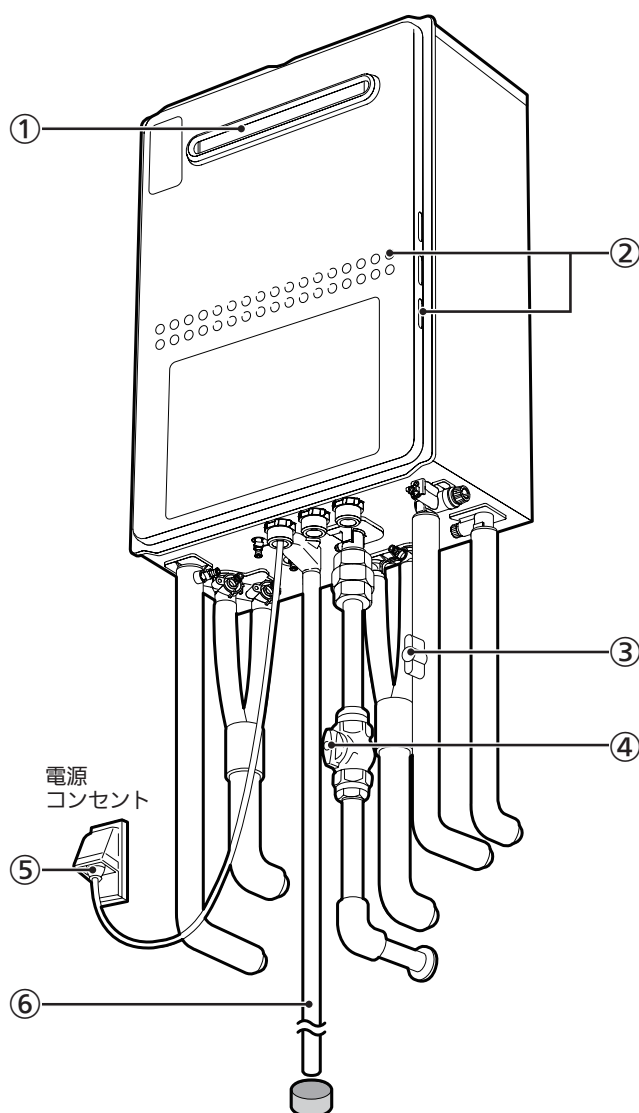
この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用するすると製品の寿命を著しく短めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

- この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

●イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。



- | | |
|---------|----------------------|
| ① 排気口 | 燃烧した排気ガスを出します。 |
| ② 給気口 | 燃烧用の空気を吸い込みます。 |
| ③ 給水元栓 | |
| ④ ガス栓 | |
| ⑤ 電源プラグ | |
| ⑥ ドレン配管 | 機器の使用で発生する凝縮水を排出します。 |

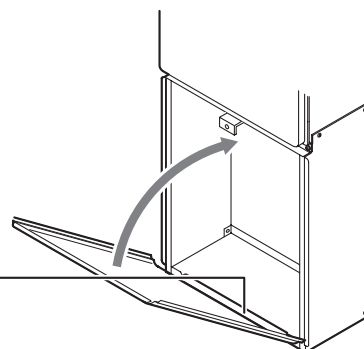
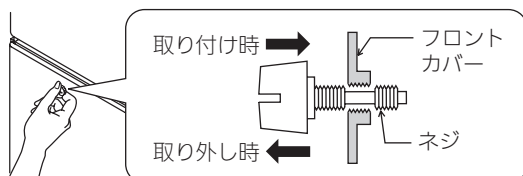
● 配管カバー・据置台のフロントカバー取り付け時の注意

※配管カバー・据置台は別売品です。

フロントカバーを外したあとは、正しく取り付けてください。

(例：ネジが1か所の場合)

- 1** フロントカバーの下部を、ケースの前下部にきちんとはめる
- 2** フロントカバーを閉め、ガタつきやゆるみのないようネジをしっかりと締める



凍結による破損を予防する

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して機器が破損することがあります。破損事故を予防するために、下記をお読みいただき必要な対策をしてください。
- 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

対策1

通常の寒さのとき

気温が下がってきたら自動検知。
凍結予防ヒーター + 浴槽水や暖房回路の循環で凍結予防する方法。

※配管や給水元栓などは予防できません。必ず保温カバーや電気ヒーターで予防してください。(わからないときは、販売店に確認してください)



こうして
ください

- 浴槽の循環アダプターの上まで、水か湯を残す
※リモコンのON/OFFスイッチの「入」「切」に関係なく、自動的に凍結予防します。
(ポンプ運転はしますが燃焼はしません)
※ポンプが回ると「ウーン」と音がし、リモコンに凍結予防運転中マークが点灯します。
※水がないとポンプが空運転し、大きな音がします。
- 電源プラグは差したまま(ブレーカーも「切」にしない)
※電源を切ると凍結予防ヒーターが作動しません。
- ガス栓は開けたまま
※自動的に暖房運転して、暖房回路の凍結予防をします。(炎マークが点灯し、ポンプの運転音(ウーン)がします)

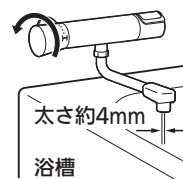
対策2

- 低温注意報が発令されたとき
- 外気温が極端に低いとき(−15℃以下) おふろの給湯栓から水を流し続ける方法。
- −15℃より高くても風があるとき



こうして
ください

- ①リモコンのON/OFFスイッチを「切」にする
- ②おふろの給湯栓から水を流したままにする
※約30分後に、流れる量を確認する。
※サーモスタート式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、
最高温度側にしてください。(次に使うとき、忘れずに戻してください)
- 対策1もあわせておこなう



機器の水抜き

- 対策1と2をしても凍結するおそれのあるとき
- 長期間使用しないとき

大寒波が到来しそうなときや、長期間使用しないときは、機器の水抜きをお願いします。



水抜きの方法は →P10の手順でおこなってください

凍結して、お湯や水が出なくなったら

凍結したまま使うと
故障の原因に！

- まずリモコンのON/OFFスイッチを「切」にしてください。(「切」にしないと燃焼する場合があります)
気温が上がり自然に解凍するまで待つことをおすすめします。水が出るようになったら、水漏れがないか確認します。

- すぐに使いたいときは、

- ① リモコンのON/OFFスイッチを「切」にする
- ② 台所などの給湯栓を少し開ける
- ③ 機器のガス栓を閉める
- ④ 給水元栓が回るかどうか確認する

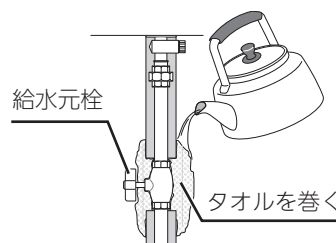
給水元栓は回るのに
水が出ないときは

給水元栓以外の場所が凍っています。
給水元栓を閉め、自然解凍を待つ
か、東邦ガスにご連絡ください。

給水元栓が凍結して回せないときは

タオルなどの布を給水元栓のまわりに巻き、30℃～40℃程度のぬるま湯をゆっくりかける
※必要に応じて、床面などがぬれないように処置をしてください。
※熱湯をじかにかけると配管が破裂するおそれがあります。また、配管以外(電源プラグやコード、電源コンセント)にお湯がかからないように注意してください。
※ガス栓と間違えないように注意してください。

給水元栓が回るようになれば解凍できたので、台所などの給湯栓を閉めてください。
※タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取ってください。
また、機器や配管から水漏れがないかよく確認してから使用してください。
※今後凍結しないように、給水元栓まわりに保温材を巻くなどの処置をご検討ください。
(わからないときは、東邦ガスにご確認ください)



長期間使用しないとき(水抜きのみ)

- 長期間使用しないときや、不在時に凍結のおそれのある場合は、以下の方法で機器の水抜きをしてください。
- ※ 暖房給湯器の水抜きをする場合は、燃料電池ユニットの水抜きも忘れずにしてください。(燃料電池ユニットの取扱説明書をご覧ください)

⚠注意



機器の水抜きをする場合、暖房放熱器を停止し、リモコンのON/OFFスイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう

必ず守る やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

※ 水抜き栓の位置は、P11のイラストを参照してください。

1

水抜き栓などから出るお湯(水)を受ける容器を準備する。
(約5L出ます)

2

① 機器のガス栓と機器の給水元栓を閉める。(ガス栓と給水元栓の位置→P8)
② 浴槽内の水を完全に排水する。

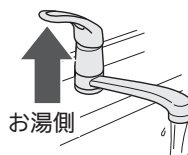
3

機器の水抜きをする。
(操作方はリモコン操作編の「機器の水抜き」の説明をご覧ください)

- このあと、浴槽に水を流し込まない。
- 水抜きの途中で電源プラグを抜いたりブレーカーを「切」にしたりしない。
- 排水が始まったあとに水抜きを中止する場合は、ON/OFFスイッチを「入」にする。

4

台所・洗面所など、家中のすべての給湯栓を全開にする。



5

※ 水抜き栓を開けると、勢いよく水が飛び散る可能性があります。

- ① 水抜き栓(フィルター付き)①を左に回して外す。
- ② 過圧防止安全装置(水抜き栓)②を左に回して開ける。
- ③ 水抜き栓③を左に回して開ける。(外さない)

6

機器に貼り付けてあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認する。

- 「不凍液が入っています」のラベルがある場合→手順7へ進む。
- 「不凍液が入っています」のラベルがない(不凍液が入っていない)場合
→水抜き栓④⑤⑥を左に回して開けてから手順7へ進む。

※ 機器内の凍結予防には必要な操作ですが、暖房放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。寒冷地では不凍液のご使用をおすすめします。

7

手順3の操作から2分以上経過後(リモコンで「ピピッ」とお知らせ音が鳴ったあと)、水抜き栓⑦⑧⑨を左に回して開け、約3分そのままにする。

8

機器の電源プラグを抜く。

ぬれた手でさわらない

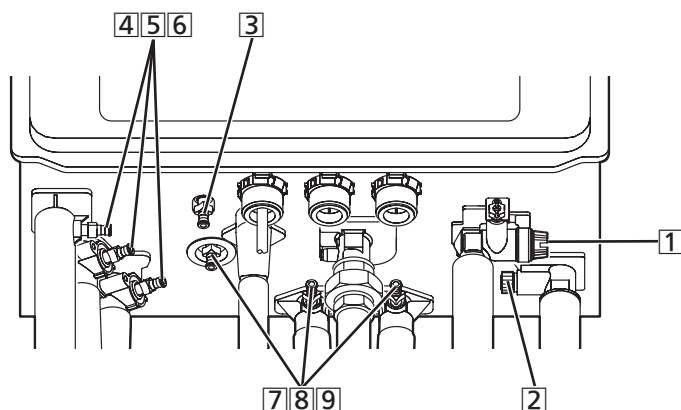
9

完全に排水したことを確認したら、すべての水抜き栓・過圧防止安全装置(水抜き栓)・家中のすべての給湯栓を閉める。

確実に閉まっていることを確認する

※ 閉まっていないと、再使用時に排気ガスが漏れる場合があります

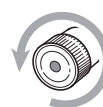
● 水抜き栓の位置 (各水抜き栓は、保温材などで見えにくいことがあります)



水抜き栓(フィルター付き)①



過圧防止安全装置(水抜き栓)②



水抜き栓③～⑨



水抜き後の再使用のとき

- ① すべての水抜き栓・過圧防止安全装置(水抜き栓)・家中のすべての給湯栓が確実に閉まっていることを確認する。
- ② 給水元栓を開ける。
- ③ 家中のすべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。
- ④ ガス栓を開け、電源プラグを電源コンセントに差し込む。
ぬれた手でさわらない
- ⑤ ポンプの呼び水をする。
① 浴室リモコンのON/OFFスイッチを「入」にして、【ふろ自動】を「入」にする。
② 浴槽の循環アダプターから水が出てくることを確認する。
※リモコンに「111」が出たときは、ON/OFFスイッチをいったん「切」にし、手順①よりやり直す。
③ 【ふろ自動】を「切」にする。(機器を使用しない場合は、ON/OFFスイッチを「切」にする)

【水抜き後はじめての暖房・ふろ使用で、リモコンに「543」「173」が出る場合】

暖房放熱器側の運転とリモコンのON/OFFスイッチをいったん「切」にし、以下のことを確認する。

- 機器の給水元栓が開いていること
- 水抜き栓④⑤⑥が閉まっていること

その後、電源プラグを抜き再度差し込んで再使用してください。

日常の点検・お手入れのしかた

- 点検・お手入れは定期的におこなってください。

⚠注意



機器の点検・お手入れをする場合、暖房放熱器を停止し、リモコンのON/OFFスイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう

必ず守る やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

点検

排気口にススがついていないか？ → ①

ついている場合は、東邦ガスに連絡する。

点検

【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】

カバーに雪が積もっていないか？ → ①

積もっている場合は、除雪する。

点検

排気口、給気口がホコリなどでふさがっていないか？

→ ①②

ふさがっている場合は、掃除する。

点検

機器外装に異常な変色はないか？ → ③

現象があった場合は、東邦ガスに連絡する。

点検

●機器から異常音が聞こえないか？ → ③

●機器・配管から水漏れはないか？ → ④

現象があった場合：

「故障・異常かな？と思ったら」の「機器全般」(P16)を確認する。それでもなおおかしいときは、東邦ガスに連絡する。

点検

●ドレン配管の先にゴミ詰まりなどがないか？ → ⑤

●ドレン配管の先が水につかっているか？ → ⑤

ゴミなどは取り除く。

ドレン配管の先が水につかっている場合は、東邦ガスに連絡する。

点検

【配管カバーまたは据置台がある場合】

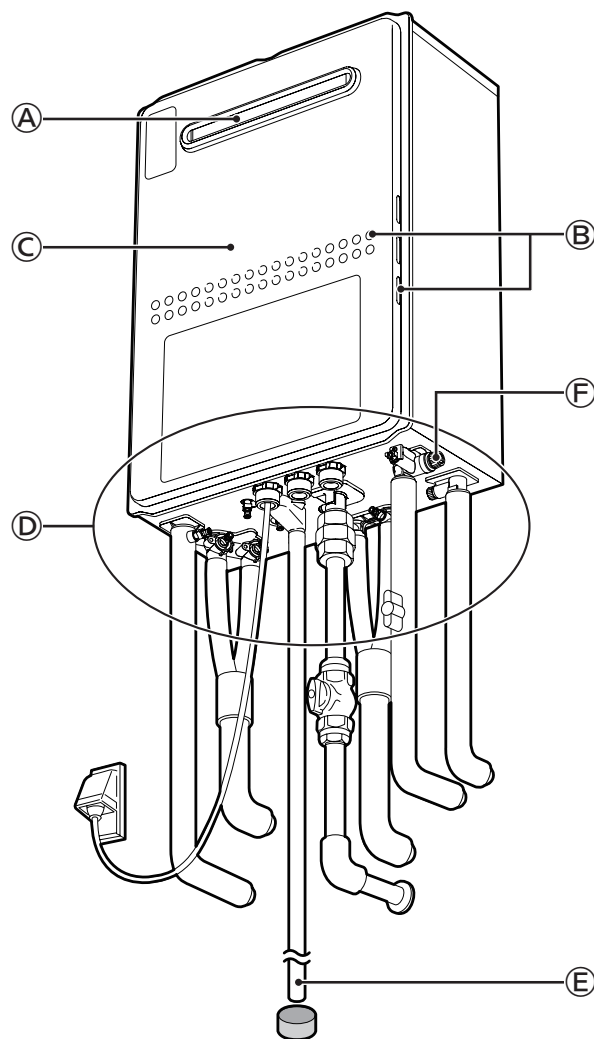
配管カバーまたは据置台のフロントカバーにガタつきやゆるみがないか？

ガタつきやゆるみがないよう、ネジをしっかりと締める。

点検

機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

燃えやすいものを置かない。



点検

機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？ → ④

現象があった場合は、東邦ガスに連絡する。

※海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

お手入れ 外装の汚れ →㉔

ぬれた布で落としたあと、充分水気をふき取ってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

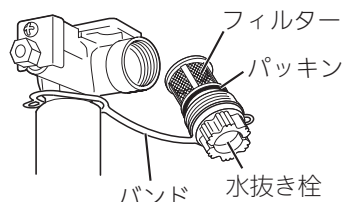
お手入れ リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

お手入れ 水抜き栓のフィルター →㉕

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

- ①水抜き栓から出る水(お湯)を受ける容器を準備する。
- ②機器の給水元栓(P8)を閉める。
- ③台所・洗面所など、すべての給湯栓を開ける。
- ④水抜き栓を左に回して外す。※1 ※2
- ⑤水抜き栓を、配管とつながっているバンドから外す。



- ⑥フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。※3
- ⑦元どおりに水抜き栓を取り付ける。
- ⑧すべての給湯栓を閉める。
- ⑨給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

- ※1 このとき水(お湯)が出るので注意してください。
 ※2 水抜き栓が固くて回らない場合は、コインなどを水抜き栓の切り欠きに差し込んで、回してみてください。
 ※3 水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

お手入れ おふろの配管

- ポンプで浴槽の水を循環させるため、湯あかはたまりにくくなっていますが、雑菌などが気になる場合は市販のふろがま洗剤をお試しください。(ふろがま洗剤の説明書に従って正しく洗浄してください)
- ふろ配管クリーンによって配管内の残り湯を押し出すことができます。(リモコン操作編の取扱説明書をご覧ください)

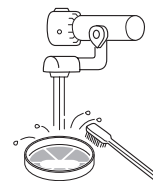
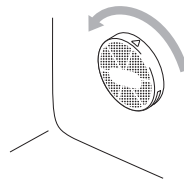
お手入れ 循環アダプターのフィルター (月に1度くらい)

フィルターが詰まると、おふろの温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

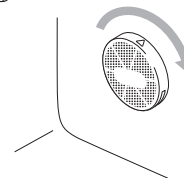
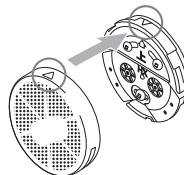
※リモコンのON/OFFスイッチを「切」にしてからおこなってください。

※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。
外したままや、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。

- ①循環アダプターのフィルター ②歯ブラシなどで水洗いする
を左に回して外す



- ③△同士を合わせてはめ込む ④右に止まるまで回して固定する



(循環アダプターの形状は、異なる場合があります)

● 不凍液の種類と交換(有料)について

機器に貼り付けてあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認できます。

【不凍液の種類】 必ず当社指定の不凍液をご使用ください。

【不凍液の交換】 不凍液は3年に1度交換してください。交換せずに使用された場合は、防サビと凍結予防の効果がなくなり、機器や暖房放熱器が破損するおそれがあります。
交換の際は、東邦ガスにご相談ください。

● 設計上の標準使用期間について

本製品は、設計上の標準使用期間を10年と算定しております。

設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は保証書を参照願います)。

故障・異常かな？と思ったら

● リモコン操作編の取扱説明書の内容も併せてご覧ください。

絵表示の説明

- ① こんなときは(状況)
 - こんなことが考えられます(原因)
- こうしてください(処置)
- リモコン操作編へ リモコン操作編の取扱説明書をご覧ください

お湯・シャワー

① 給湯栓を開いてもお湯が出てこない、お湯にならない

- リモコンに(給湯エラ)と3桁の英数字を交互に表示していないか確認する。
→表示していれば、P17を確認し、必要な処置をする。
- ガス栓・給水元栓が全開になっていない。
→ガス栓・給水元栓を全開にする。
- 断水している。
→復旧を待つ。
- ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している。
→東邦ガスに連絡する。
- 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。
→P13の方法でお手入れする。
- 凍結している。
→P9「凍結して、お湯や水が出なくなったら」を確認し、必要な処置をする。
- 夏場などの水温が高いときは、ぬるいお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。
→給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。

② 給湯栓を絞ると水になった

- 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
→異常ではありません。

③ お湯がぬるい

- サーモスタット式混合水栓の場合は、リモコンの給湯温度をハンドルの温度より約10℃高く設定すると、ちょうどよくなります。
→異常ではありません。

④ 熱くなったりぬるくなったり温度が安定しない

- 夏場などの水温が高いときは、ぬるいお湯を少量出そうとすると、温度が安定しません。
→給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。

⑤ 設定温度より熱いお湯が出る

- 夏場などの水温が高いときは、ぬるいお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
→給湯栓をもっと開いて使用する。
- 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
→もう少し給湯栓を開いて使用する。

⑥ お湯が出てくるまで時間がかかる

- 暖房やふろ自動(または追いだき)と給湯を同時に使ったあとに、再度給湯すると、しばらく低い温度のお湯が出ることがあります。
→異常ではありません。

⑦ 給湯栓から出るお湯の量が変化する

- お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用したりふろ自動や追いだきをするすると、お湯の量が減る場合があります。
→異常ではありません。
他の場所での使用をやめたり、ふろ自動や追いだきが終わると、元に戻ります。
- 水道の圧力や配管条件によっては、お湯の量が変化する場合があります。また、水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。
→異常ではありません。
- お湯の温度を安定させるため、お湯の出はじめは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
→異常ではありません。

⑧ お湯が白くにごって見える

- 水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。
→異常ではありません。

おふろ

① お湯はりのはじめに水が出る

- 配管内にたまっていた水(お湯)がさめて、お湯はりのはじめに出る場合があります。
→異常ではありません。
- 水温が高いときや、ふろ温度を低く設定しているときは、お湯はりのはじめに水が出る場合があります。
→異常ではありません。

② 沸かしはじめに、浴槽の循環アダプターから「ボコ、ボコ」と空気の出る音がある

- おふろの配管などにたまった空気が出る音です。
→異常ではありません。

③ 浴槽の循環アダプターからお湯が出たり止まったりする

- 【ふろ自動】を「入」にすると、残り湯の量を確認するためにポンプが作動し、しばらくは循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
→異常ではありません。

④ 浴槽の循環アダプターから出るお湯の温度が変化する

- ふろ自動(または追いだき)と給湯や暖房を同時に使うと能力が下がるため、起こる現象です。
→異常ではありません。
いずれかの使用をやめると改善します。

⑤ 設定したふろ湯量どおりに沸き上がらない

- 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや毛髪が詰まっている。
→P13の方法でお手入れする。
- 残り湯をふろ自動で沸かし直すと、設定した湯量どおりになりません。
→リモコン操作編へ「残り湯を沸かし直す」の自動タイプの項目を確認する。

❓ 風呂自動や追いだきの沸き上がりがいつもより遅い
お湯はり(風呂自動、たし湯)が途中で停止した

- 風呂自動と給湯を同時に使うと、お湯の出をよくするためにお湯はりを一時中断します。そのため、沸き上がりが遅くなったり、お湯はりが途中で停止したりします。
→異常ではありません。
お湯はりを中断しないように変更できます。
(リモコン操作編へ) 風呂メニューの「給湯とお湯はりの同時使用」を「同時使用する」に設定する。
- 風呂自動(または追いだき)と給湯や暖房を同時に使うと能力が下がったり、ポンプ運転が一時中断したりするため、沸き上がりが遅くなる場合があります。
→異常ではありません。
いずれかの使用をやめると改善します。

❓ お風呂のお湯がぬるい、お風呂のお湯が熱い

- 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや毛髪が詰まっている。
→P13の方法でお手入れする。
- 浴槽の循環アダプターのフィルターが確実に取り付けられていない。
→P13の方法で確実に取り付ける。

❓ 追いだきができない、追いだきが途中で停止した

- 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや毛髪が詰まっている。
→P13の方法でお手入れする。
- 断水している。(断水すると、浴槽にためている水が機器に逆流するのを防ぐために、残り湯の追いだきはできないしくみになっています)
→復旧を待つ。

❓ 追いだき時、浴槽の循環アダプターから出るお湯の温度が変化する

- しくみ上、断続的に燃焼と消火をくりかえすことがあります。
→異常ではありません。

❓ 追いだきしても風呂温度が上がらない

- 風呂温度の上限を設定している。
→(リモコン操作編へ) 風呂メニューの「風呂最高温度」の設定を確認する。

❓ 追いだきしないのに浴槽の水があたたくなる

- 暖房使用中に、風呂配管の凍結予防(ポンプ運転)がはたらくと、浴槽の水があたたかくなることがあります。
→異常ではありません。

❓ お風呂を使用していないのに浴槽の循環アダプターからお湯(水)が出る

- 凍結予防のためポンプが作動し、配管に残っている水が循環アダプターから出る場合があります。
→異常ではありません。

暖房

❓ 床面のあたたかさが場所によって異なる

- 温水配管内に温水を循環させて床をあたためるしくみになっています。温水配管の通っているところと通っていないところでは、床面の温度に多少の差が生じます。
→異常ではありません。

❓ 暖房がなかなかあたたまらない
浴室暖房乾燥機の温風の温度が変化したり低くなったりする
床暖房の温度変更をしていないのに床面の温度が下がった

- 風呂自動(または追いだき)と暖房を同時に使うと能力が下がるため、起こる現象です。
→異常ではありません。
いずれかの使用をやめると改善します。
- 床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造などによって、あたたかくなるまでの時間は異なります。(目安:1時間程度)
→異常ではありません。
- 床暖房しはじめは、早く床面をあたためるために高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。
→異常ではありません。

❓ 【マイクロバブル浴専用循環アダプターが付いている場合】
床暖房の床面の温度が下がった

- 床暖房とマイクロバブル浴を同時に使用すると、床面の温度が下がることがあります。
→異常ではありません。
マイクロバブル浴をやめると改善します。

❓ 床暖房中に音がする

- 床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床仕上げ材などが収縮・膨張するため発生する音、または温水の流れる音です。
→異常ではありません。

❓ 床暖房を使用していないのに床があたたまることがある

- 暖房回路内の空気抜きや凍結予防のためにポンプが作動したときに、他の暖房放熱器を使用していると、一時的に床があたたまることがあります。
→異常ではありません。

❓ 床面の足ざわりが場所によって異なる

- 温水配管やその接続部などがあるため、床面の足ざわりが周囲と異なる場合があります。
→異常ではありません。

❓ 床面に凹凸や段差がある

- 温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床仕上げ材と周辺の継ぎ合わせ部などには多少の凹凸があるため、光の当たり具合により目立つことがあります。
→異常ではありません。

❓ 床面の継ぎ目にすき間がある

- 暖房を使用することにより、乾燥して仕上げ材が収縮し、継ぎ目にわずかなすき間が生じる場合があります。
→異常ではありません。

故障・異常かな？と思ったら(つづき)

暖房(つづき)

? 床面が変色した

- 床仕上げ材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。
→カーテンやブラインドで日差しをさえぎる。

? 暖房を使用していないのにパネルヒーターがあたたまることがある

- パネルヒーターのバルブが開いているときに追っだきをする、パネルの温度が上がります。
→パネルヒーターのバルブを閉める。

機器全般

? 排気口から湯気(白い煙のようなもの)が出る

- この機器で排出される燃焼ガスは温度が低く、水分を多く含んでいるため、外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。
→異常ではありません。
- 機器を使用していない場合でも、暖房回路の凍結予防時には、白い湯気が出ます。
→異常ではありません。

? 機器から水漏れしている

- 【ドレン配管から水が出ている場合】
機器内に発生した凝縮水をドレン配管から排出します。
(最大100mL/分程度)
→異常ではありません。
- 【水抜き栓から水が出ている場合】
機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置がはたらき、過圧防止安全装置付の水抜き栓から水滴が落ちることがあります。
→異常ではありません。

? 使用していないのに音がする

- 【運転を停止しても、しばらくの間機器から音がする場合】
【ON/OFFスイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとクックッ、クーという音がする場合】
再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。
→異常ではありません。
- 【機器からウーンという音がする場合】
ポンプが自動的に作動する音です。
 - ・ 追っだき終了後(お湯をまぜるため)
 - ・ ふろ予約時の予約時刻1〜2時間前(残り湯チェックのため)
 - ・ 気温が低いとき(凍結予防のため)
 - ・ 暖房を長期間使用しないとき(暖房回路の空気抜きのため約1か月ごとに作動)
→異常ではありません。

? 水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した

- 水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。
→こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

リモコンに3桁の英数字を表示しているとき <故障表示>

●暖房給湯器に不具合が生じたとき、リモコンに(給湯エラー)と3桁の英数字を交互に表示します。下表に応じた処置をしてください。

(発電エラー)と5桁の英数字を交互に表示している場合は、燃料電池ユニットの取扱説明書をご覧ください。

お客さまで対処できるもの		原因	処置
002	初めてふろ自動するとき、浴槽に試運転時の水などが残っていた	→①再度【ふろ自動】を押す。(故障表示消灯)	②次回ふろ自動をするとき、浴槽内に残り湯がない状態でおこなう。 (それ以降は残り湯があってもふろ自動できます)
011	連続60分以上給湯した	→①給湯栓を閉める。	②ON/OFFスイッチを「切」にし、再度「入」にして使用する。
012	連続90分以上追いだきした	→①ON/OFFスイッチを「切」にし、再度「入」にする。	②浴槽のお湯の温度が高温になっている場合は、安全のため点検を受ける。
032	浴槽の排水栓の閉め忘れ ※リモコンの音声「おふろの栓を確認してください」でもお知らせします。	→①浴槽の排水栓を閉める。	②再操作をする。表示・音声がでなければ正常。
111 113	■【111】給湯側の点火エラー ■【113】暖房側の点火エラー	→①ON/OFFスイッチを「切」にする。【113】の場合は、暖房放熱器も停止する。	②以下の事項を確認して問題があれば処置する。 ・ガス栓が開いていなければ、きっちり止まるまで開ける。 ・ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していたら、当社営業所・サービスセンターに連絡する。
		③【111】ON/OFFスイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常。 【113】ON/OFFスイッチを「入」にし、暖房放熱器を運転するか、【追いだき】を「入」にして表示が出なければ正常。	
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎた	→①給湯栓を閉める。	②ON/OFFスイッチを「切」にし、再度「入」にする。 ③給湯栓をもっと開いて使用する。
290	■ドレン配管の異物詰まりや凍結により、機器内に発生した凝縮水が排出できなくなっている	→①ドレン配管の先にゴミなどが詰まっていないか確認し、ゴミなどが詰まっていれば取り除く。(P12)	②冬場寒いときは、ドレン配管が凍結している可能性があるため、気温が上昇して自然解凍するのを待つ。 ③その後ON/OFFスイッチを「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常。 ※上記に該当しない場合や上記の処置をしてもなお故障表示をくりかえすときは、機器内の中和装置に詰まりが発生しているなどの原因が考えられます。また、冬場寒いときに故障表示が何度も出るような場合は、ドレン配管の凍結予防処置(有料)が必要な場合があります。東邦ガスにご相談ください。

562	■断水などで水が通っていない(ふろ自動、追いだき、たし湯、たし水するとき) →①給水元栓が開いているか、断水していないか(水栓から水が出るか)を確認する。 ②ON/OFFスイッチを「切」にし、通水を確認してから再度「入」にして使用する。
632	■おふろの追いだきするとき、浴槽のお湯(水)が足りない →①ON/OFFスイッチを「切」にし、再度「入」にする。 ②浴槽の循環アダプターの上までお湯(水)を入れてから追いだきをする。 ■循環アダプターのフィルターが詰まっているか、正常に取り付けられていない →①循環アダプターのフィルターを確認する。(詰まっているか、正常に取り付けられているか) ②ON/OFFスイッチを「切」にし、再度「入」にして使用する。
900 901 903	■燃焼に異常が生じた →ON/OFFスイッチを「切」にし、再度「入」にする。 (リセットできない、またはリセットしてもたびたび表示が出る場合は、修理を依頼してください)

東邦ガスに連絡が必要です		■：原因 →：処置
043	■ 暖房水が不足している → 東邦ガスに不凍液の補給を依頼してください。	
101 103	■ 給排気に異常が生じ、安全のために能力を低下させている → 機器は使用できますが、安全のため点検を受けてください。	
661	■ 水量を調節する装置に異常が生じた → しばらく使用はできませんが、必ず東邦ガスにご連絡ください。 ※ただし、お湯の出はじめやお湯の量を変更したときに、設定温度よりも熱いお湯が出たり、高温のお湯が出る場合は、すぐに使用をやめ、東邦ガスにご連絡ください。	
920	■ 中和器の寿命のため交換が必要 → しばらくすると使用できなくなりますので、すぐに東邦ガスにご連絡ください。	
991 993	■ 燃焼に異常が生じた → 機器は使用できません。東邦ガスにご連絡ください。	
・このページ以外の表示が出るとき ・「お客さまで対処できるもの」の処置をしても、表示がくりかえし出るとき ・その他、わからないとき		→ 東邦ガスにご連絡ください。

アフターサービス

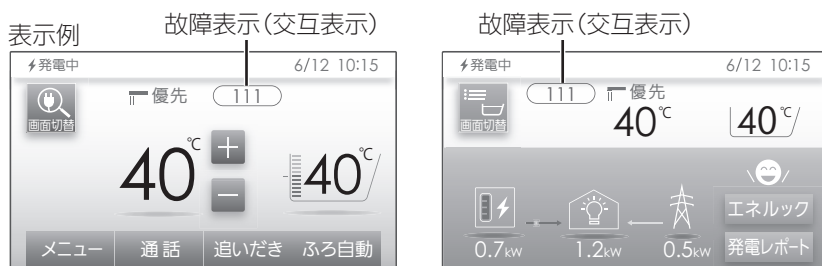
● サービスを依頼されるとき

P14～17の「故障・異常かな?と思ったら」「リモコンに3桁の英数字を表示しているとき<故障表示>」、リモコン操作編の「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、下記にご連絡ください。

東邦ガス株式会社
エネファーム・エコウィルサポートセンター専用ダイヤル
Tel フリーダイヤル 0120 - 677 - 977

【連絡していただきたい内容】

- ・品番：FT4218KRSSWCMZ(機器に貼り付けてある銘板(P2)でも確認できます)
- ・お買い上げ日(保証書をご覧ください)
- ・異常の状況(故障表示など、できるだけ詳しく)



- ・ご住所、ご氏名、電話番号
- ・訪問ご希望日

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。
(工事店にご相談ください)

● 保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず販売店名・お買い上げ日などが記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。
無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

● 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

● 移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業者、東邦ガスにご相談ください。
ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。
※ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。

● BL認定品について

BL認定品には、機器にBLマークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

(BLマーク)



主な仕様

- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- 出湯能力は湯水混合の計算値です。ただし、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- 使用ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

● 仕様表 (24号)

品番	FT4218KRSSW/CMZ
型式名	GTH-C2449(S)AW-1
種類	給湯方式 先止め式
設置方式	屋外設置形
点火方式	放電点火式
水圧	使用水圧 (MPa) 0.1~1.0 (1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.5 (約1.5~5.0kgf/cm ²)>
作動水圧 (kPa)	10 (0.1kgf/cm ²)
最低作動流量 (L/分)	3.5
外形寸法 (mm)	高さ615×幅464×奥行240
質量 (本体) (kg)	33.5
接続	ふろ (行き・戻り) CCHMジョイント
	暖房 (行き・戻り) CCHMジョイント
	給湯・給水 R3/4
	ガス R3/4
電	ドレン排出 (オーバーフロー) R1/2
	源 AC100V (50/60Hz)
	消費電力 (50/60Hz) (W) 195 / 195
	待機時消費電力 4.2
湯温制御方式	凍結予防ヒーター 170
	電子式ガス比例制御方式
	安全装置
	立消え安全装置、残火安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、ファン回転検出装置、ふろポンプ回転検出装置、過電流防止装置、誘導電保護装置、中和器詰まり検出装置、逆流防止装置、暖房ポンプ回転検出装置

● 能力表 (24号)

使用ガス	1時間当りのガス消費量 (最大消費量) (kW)				出湯能力 (最大時) (L/分)	
	給湯と暖房 (またはふろ) 同時使用	給湯	暖房	暖房とふろ 同時使用	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス 13A	57.8	44.1	高温 13.7 / 低温 8.8	13.7	24	15

保証書

品 番

FT4218KRSSWCMZ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この保証書は、東邦ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。
万一故障いたしましたときは、本書をご提示の上、お買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガス営業所に修理をご依頼ください。

記

- 保証期間は、お買い上げ日から2年間とし、本体を対象といたします。
なお、下記部品については以下の年数を保証いたします。
熱交換器 3年
- 保証期間内でありましても次の場合には有料修理といたします。
 - 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の故障および損傷。
 - 一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷。
 - 指定規格以外のガス、電気、または熱媒等をご使用したことにより起因する故障および損傷。
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - 火災、凍結、塩害、地震、風水害、落雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流・電圧・周波数・電磁波、犬・猫・ねずみ・鳥・くも昆虫等の動物の行為、その他天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。
 - 器具を調整、改造された場合の故障および損傷。（ただし、当社都合の場合は除く。）
 - 建築躯体の変形等、当製品以外に起因する故障および損傷。
 - 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ日、販売店名・住所の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
 - 電気、給水のトラブル等に起因する故障および損傷。
 - 給水・給湯配管などの錆び等、異物混入に起因する故障および損傷。
 - 温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する故障および損傷。

お買い上げ日

年

月

日

販売店名・住所

電話

(

)

保証履行者

東邦ガス株式会社

〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19番18号

保証責任者

株式会社ノーリツ

〒650-0033 神戸市中央区江戸町93番地

お客さまへ

- この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名・住所が記入捺印してあることを確認してください。
- 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理などにつきましては取扱説明書をご覧ください。
- この保証書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
- 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店、またはお近くの東邦ガス営業所にお問い合わせください。

修理記録

年 月 日	修 理 内 容	サービス員 印